

阿南工業高等専門学校学則

(昭和38年4月1日)

(学 則 第 1 号)

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、教育基本法にのっとり、及び学校教育法に基づいて深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

第2章 修業年限、在学期間、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

(修業年限及び在学期間)

第2条 修業年限は、5年とする。

2 在学期間は、10年を超えることができない。ただし、第1年次から第3年次までは通算して6年、第4年次及び第5年次においては通算して4年を超えて在学することができない。

(学年)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第4条 学年を分けて、前学期と後学期の2学期とする。

2 前項に規定する学期の終始については、校長がその都度定める。

(休業日)

第5条 休業日は、次の各号のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長はこれらの休業日を授業日に振り替えることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 開校記念日 4月20日

(4) 春季休業

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

(7) 学年末休業

2 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がそのつど定める。

(授業終始の時刻)

第6条 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

第3章 学科、学級数、入学定員及び教職員組織

(学科、学級数、入学定員)

第7条 学科、学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 科	学 級 数	入学定員	収容定員
創造技術工学科	4	160人	800人

2 前項に規定する学科に、第2学年から次のコースを設け、各コース及びプログラムの配属定員は次のとおりとする。

学 科	コース	配属定員
創造技術工学科	機械コース (知能システムプログラム18名含む)	36人
	電気コース (光情報プログラム18名含む)	36人
	情報コース	38人
	建設コース (スマート都市・建築デザインプログラム6名含む)	24人
	化学コース (化学・情報プログラム4名含む)	26人

(学科の教育目的)

第7条の2 学科における教育目的は、次のとおりとする。

創造技術工学科は、社会人・職業人として必要な一般教養と国際化対応能力、工学分野のもののづくりに共通して必要な基礎的知識・技術と情報処理能力、核となる分野に関する知識・技術と他分野の専門知識を教授し、様々な産業分野で幅広い課題について解決あるいは対応できる人材の育成を目的とする。各コースの核となる知識・技術とは次のとおりとする。

- (1) 機械コースは、機械の力学、加工、材料及び制御に関する機械工学の知識と技術、機械システムの設計と製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (2) 電気コースは、電気エネルギーから電子情報通信に及ぶ電気電子工学の知識と技術、電気・電子回路の設計・製作・解析で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (3) 情報コースは、コンピュータを利用して制御を行うための計測・制御・情報工学の知識と技術、情報通信システムおよび制御システムの調査・分析・設計で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (4) 建設コースは、環境や情報の分野を融合した建設工学の知識と技術、構造物の建設や環境保全で必要とされる実践的な知識と技術とする。
- (5) 化学コースは、無機化学から有機化学に及ぶ材料や化学工学の知識と技術、材料開発、化学プラント開発、化学薬品製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(教職員)

第8条 本校に、教員(校長、教授、准教授、講師、助教、助手)及び職員を置く。

2 教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるところによる。

第9条 本校に教務主事、学生主事及び寮務主事を置く。

2 教務主事は、校長の命を受け、教育計画の立案その他教務に関することを掌理する。

3 学生主事は、校長の命を受け、学生の厚生補導に関すること(寮務主事の所掌に属するもの

を除く。)を掌理する。

- 4 寮務主事は、校長の命を受け、寄宿舍（以下「学寮」という。）における学生の厚生補導に関することを掌理する。

（事務部）

第10条 本校に、庶務、会計及び学生の厚生補導に関する事務を処理するため事務部を置く。

（技術部）

第10条の2 本校に教育研究に係る技術支援業務を行うため技術部を置く。

（内部組織）

第11条 前4条に規定するもののほか、本校の内部組織は、別に定める。

第4章 教育課程等

（授業日数）

第12条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（授業科目等）

第13条 授業科目はその内容により、各コースに共通する一般科目、専門共通科目及びコースごとの専門科目に分ける。

- 2 各授業科目の単位数は、30単位時間の履修を1単位として計算するものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、本校が定める授業科目については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算することができる。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 第1号の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち複数の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して別に定める時間の授業をもって1単位とする。
- 4 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計数は、60単位を超えないものとする。
- 5 前3項の規定にかかわらず、卒業研究の授業科目については、この学修の成果を評価して単位の修得を認定することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 6 学年ごとの授業科目及びその単位数は、別表第1から別表第7の定めるところによる。
- 7 前各項に定める授業科目のほか、特別活動を行う。特別活動の単位時間数は、別表第8のとおりとする。

（遠隔授業による修得単位）

第13条の2 前項で定める単位数のうち、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所での授業の方法により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位の中に算入することができる。

（他の高等専門学校における授業科目の履修）

第13条の3 校長は、教育上有益と認められるときは、学生が他の高等専門学校において履修し

た授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(高等専門学校以外の教育施設等における学修等)

第13条の4 校長は、教育上有益と認められるときは、学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし、単位の修得を認定することができる。

2 前項により認定することができる単位数は、前条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第1項の規定は、学生が、外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。この場合において認定することができる単位数は、第26条の2第2項により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項に関し必要な事項は、別に定める。

(履修)

第14条 履修、履修方法及び成績評価については、別に定める。

(修了、卒業の認定)

第15条 各学年の課程の修了又は卒業の認定は、校長が行う。

第5章 入学、休学、復学、出席停止、退学、転学、留学及び卒業

(入学資格)

第16条 入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 中学校を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者
 - (2) 義務教育学校を卒業した者
 - (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
 - (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣が指定した者
 - (6) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号。）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - (7) その他相当年令に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (入学者の選抜及び入学の許可)

第17条 校長は、入学志望者について、学力検査の成績、出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行う。

2 校長は、前項に規定する入学者の選抜方法によるほか、入学定員の一部について出身学校の長の推薦に基づき、学力検査を免除し、出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として、入学者の選抜を行うことができる。

3 校長は、前2項の選抜の結果に基づき、第39条に規定する入学料を納付した者に対して入学を許可する。ただし、入学料免除又は徴収猶予の申請書を受理された者にあつては、この限りでない。

(編入学)

第18条 第1学年の途中又は第2学年から第4学年までに入学を希望する者があるときは、校長は、その者が相当年令に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認められ、かつ、定員に欠員がある場合に限り、前条の規定（第2項の規定を除く。）に準じて、相当学年に入学を許可することができる。

（誓約書等の提出）

第19条 入学を許可された者は、所定の期日までに在学中の保護者等と連署した誓約書及び校長が定めた書類を提出しなければならない。ただし、外国人留学生は、誓約書の提出を要しない。

2 前項の手続を完了しない者があるときは、校長は、その入学を取り消すことがある。

（転科）

第20条 （削除）

（休学）

第21条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により、3ヶ月以上継続して修学することができないときは、校長の許可を受けて、休学することができる。

（休学の期間）

第22条 休学の期間は、2年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は、修業年限及び在学期間に算入しない。

（復学）

第23条 休学した者は、休学の理由がなくなったときには、校長の許可を受けて、復学することができる。

（出席停止）

第24条 学生に伝染病その他疾病があるときは、校長は、出席停止を命ずることがある。

（退学、再入学）

第25条 学生は、疾病その他やむを得ない理由により、退学しようとするときは、校長の許可を受けて、退学することができる。

2 前項の規定により退学した者で、再入学を希望する者があるときは、校長は、選考の上、相当学年に入学を許可することができる。

（転学）

第26条 他の学校に入学、転学又は編入学しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

（留学）

第26条の2 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 校長は、前項の規定により留学することを許可された学生が行う外国の高等学校又は大学における学修を、本校における授業科目の履修とみなし、60単位を超えない範囲で単位の修得を認定することができる。

3 校長は、前項の規定により単位の修得を認定された学生について、第3条に規定する学年の途中においても、各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

4 前3項に関し必要な事項は、別に定める。

(卒業)

第27条 各学年の全課程を修了した者には、校長は、所定の卒業証書を授与する。

(称号)

第27条の2 本校を卒業した者は、準学士（工学）と称することができる。

第6章 専攻科

(設置)

第28条 本校に、専攻科を置く。

(専攻及び入学定員)

第29条 専攻科の専攻、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

専攻	入学定員	収容定員
創造技術システム工学専攻	16人	32人

2 前項に規定する専攻に、次のコースを設ける。

専攻	コース	募集人員
創造技術システム 工学専攻	機械システムコース	16人
	電気電子情報コース	
	建設システムコース	
	応用化学コース	

(目的)

第30条 専攻科は、学科における教育の基礎の上に、更に高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的とする。専攻科課程を通して、核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者の育成を図る。各コースの核となる専門的知識と技術は、次のとおりとする。

- (1) 機械システムコースは、機械工学に関する研究課題を解決するために必要な力学、材料、生産・加工、設計、熱流体、機械力学・制御などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。
- (2) 電気電子情報コースは、電気電子工学、情報工学に関する研究課題を解決するために必要な電気回路、デジタル回路、ロボット制御、計測、プログラミングなどの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。
- (3) 建設システムコースは、土木工学に関する研究課題を解決するために必要な構造・材料、地盤・水工・環境、計画・防災などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。
- (4) 応用化学コースは、応用化学に関する研究課題を解決するために必要な物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、化学工学などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。

(入学資格)

第31条 専攻科に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学者の選抜及び入学の許可)

第32条 校長は、入学志願者に対して、別に定めるところにより選抜の上、入学を許可する。

(修業年限及び在学期間)

第33条 専攻科の修業年限は、2年とする。ただし、4年を超えて在学することはできない。

(休学の期間)

第34条 専攻科学生の休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。
- 3 休学の期間は、前条に定める修業年限及び在学期間に算入しない。

(教育課程)

第35条 専攻科の授業科目及び単位数等は、別表第9から別表第13のとおりとする。

- 2 履修及び成績評価については、別に定める。

(授業日数)

第35条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

- 2 授業は、講義、演習、実験及び実習のいずれか又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって

1 単位とする。

(3) 第 1 号の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち複数の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して別に定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(修了)

第36条 学生は、専攻科に 2 年以上在学し、別に定める修了要件を満たし、62単位以上を修得するものとする。

2 校長は、前項の要件を修得した者に対し修了を認定し、修了証書を授与する。

(準用規定)

第37条 専攻科学生については、第 3 条から第 6 条まで、第12条、第13条の 3、第14条、第21条、第23条から第25条まで、第26条の 2 第 1 項及び第 2 項、第39条から第41条まで、第43条から第46条まで並びに第48条から第50条までの規定を準用する。この場合において、第13条の 3 第 2 項及び第 3 項中「60単位」とあるのは「16単位」と、第26条の 2 第 1 項及び第 2 項中「外国の高等学校又は大学」とあるのは「外国の大学」と、同条第 2 項中「60単位」とあるのは「16単位」と、第50条第 2 号中「第22条」とあるのは「第34条」と読み替えるものとする。

(その他)

第38条 本章に定めるもののほか、専攻科に関し必要な事項は、別に定める。

第 7 章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額)

第39条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則（平成16年 4 月 1 日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号）に定めるところによる。

(検定料)

第40条 入学を志望する者は、願書提出と同時に検定料を納付しなければならない。

(入学料)

第40条の 2 入学料は、所定の期日までに納付するものとする。

(授業料)

第41条 学生は、授業料を次の 2 期に区分して納付するものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

(1) 前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

(2) 後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

2 前項の授業料は、前期にあつては 5 月に、後期にあつては 10 月に納付しなければならない。

3 前 2 項の規定にかかわらず、学生は、前期に係る授業料を納付するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

4 第 1 項及び第 2 項の規定にかかわらず、入学を許可された者は、入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料を入学を許可されたときに、納付することができる。

(編入学者の授業料)

第42条 学年の中途において入学した者が、前期又は後期において納付する授業料の額は、授業料の年額の 12 分の 1 に相当する額に入学の日の属する月から次の時期前までの月数を乗じて得た額とし、入学の日の属する月に納付するものとする。

(退学者の授業料)

第43条 学年の途中で退学する者は、退学する日の属する時期が前期であるときは、授業料の年額の2分の1に相当する額の授業料を、退学する日の属する時期が後期であるときは、授業料の年額に相当する額の授業料をそれぞれ納付するものとする。

(寄宿料)

第44条 学寮に入寮している学生は、入寮した日の属する月から退寮する日の属する月までの間、寄宿料を納付するものとする。

(授業料等の還付)

第45条 既納の検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、還付しない。

2 前項の規定にかかわらず第41条第3項及び第4項の規定により前期分授業料納付の際、後期分授業料を併せて納付した者が、当該年度の後期分授業料納付時期前に休学又は退学した場合には、後期分の授業料に相当する額を還付する。

3 第1項の規定にかかわらず第41条第4項の規定により授業料を納付した者が、3月31日までに入学を辞退した場合には、申し出により当該授業料に相当する額を還付する。

4 第1項の規定にかかわらず第41条第1項又は第44条に定める期間に、授業料又は寄宿料を納付した後に死亡により除籍された学生については、月割計算により死亡の届出があった日の属する月の翌月以降の当該学生に係る授業料又は寄宿料に相当する額を還付するものとする。

5 第1項の規定にかかわらず第40条の2の規定により入学料を納付した者が、入学料納付後、入学しようとする年の3月末日までに死亡した場合は、当該者に係る入学料に相当する額を還付するものとする。

6 第1項の規定にかかわらず第40条の2の規定により入学料を納付した者が、入学しようとする年の3月末日までに次の各号の一に該当する特別な事情が生じたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、校長は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料等の還付に関する規則（平成25年3月29日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第115号）第3条第4項による入学料免除の申請を受け、その申請に基づき選考の上、当該者に係る入学料に相当する額を還付することができる。

(1) 入学料納付後に学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(2) 前号に準ずる場合であって、校長が相当と認める事由がある場合

(入学料、授業料及び寄宿料の免除等)

第46条 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合その他やむを得ない事由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

2 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又は休学、死亡その他やむを得ない事由があると認められる場合には、授業料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

3 風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が困難であると認められる場合には、寄宿料の全部を免除することがある。

4 前3項に関し必要な事項は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料、入学料及

び寄宿料の免除及び徴収猶予に関する規則（令和2年5月19日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第134号）及び独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料等の免除及び徴収猶予取扱要領（平成28年3月7日理事長裁定）に定める他、別に定める。

第8章 学生準則、賞罰及び除籍

（学生準則）

第47条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

（表彰）

第48条 学生として表彰するに値する行為があるときには、表彰することがある。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

（懲戒）

第49条 教育上必要があるときには、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。

ただし、退学は次の各号の一に該当するものについて行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

2 停学の期間は、在学期間に算入し、修業年限には算入しない。ただし、停学の期間が短期（30日以下）又は校長が特に認めた場合には、修業年限に算入することができる。

（除籍）

第50条 次の各号の一に該当する者は、校長がこれを除籍する。

- (1) 死亡した者又は長期にわたり行方不明の者
- (2) 第22条に規定する休学期間を超えてなお就学できない者
- (3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 第46条第1項に規定する入学料免除又は徴収猶予の申請書を受理され、免除若しくは徴収猶予を不許可とされた者又は半額免除若しくは徴収猶予を許可された者で、所定の期日までに入学料を納付しないもの

第9章 学寮

（設置）

第51条 本校に学寮を設ける。

2 第1学年及び第2学年の学生は、全員入寮しなければならない。ただし、校長が特に認めた場合については、この限りでない。

3 学寮の運営その他必要な事項は、別に定める。

第10章 研究生、聴講生、特別聴講学生及び科目等履修生

（研究生）

第52条 本校において特定の専門事項について研究を志願する者があるときは、教育研究に支障のない限り、校長は、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

（聴講生）

第53条 本校の授業科目のうち特定の科目について聴講を志願する者があるときは、教育研究に支障のない限り、校長は、選考の上、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第53条の2 大学（短期大学、高等専門学校及び外国の高等教育機関を含む。）間単位互換協定等に基づき、本校の授業科目のうち1科目又は複数科目の履修を志願する者があるときは、教育研究に支障のない限り、校長は、選考の上、特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第54条 本校の授業科目のうち1科目又は複数科目の履修を志願する者があるときは、教育研究に支障がない限り、校長は、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生が履修した授業科目は、本校の定めるところにより、単位の修得を認定することができる。

3 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 外国人留学生

(外国人留学生)

第55条 外国人で、留学を志願する者があるときは、選考の上、校長は、外国人留学生として入学又は受入を許可するものとする。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生の定員)

第56条 外国人留学生は、定員外とすることができる。

第12章 公開講座

(公開講座)

第57条 本校に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第13章 「創造技術システム工学」教育プログラム

(設置)

第58条 本校は、本科4年次から専攻科2年次までの4年間にわたる「創造技術システム工学」教育プログラム（以下「教育プログラム」という。）を置く。

(入学)

第59条 教育プログラムへの入学は、本科4年次への進級又は高等学校から本科4年次への編入学をもって行う。

2 教育プログラムの履修生は、プログラム履修者名簿に登録する。

(編入)

第60条 教育プログラムへの編入は、他の高等教育機関から専攻科への入学をもって行う。

(履修等)

第61条 教育プログラムの履修及び学業成績の評価については、別に定める。

(教育プログラムの修了)

第62条 教育プログラムの履修生は、第36条に定めるもののほか、学士（工学）の学位を取得す

るものとする。

- 2 校長は、前項の修了要件を満たしたものに對し修了を認定し、教育プログラム修了証書を授与する。

附 則

この学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和41年4月1日から施行する。
- 2 昭和41年の入学、転学、編入学又は再入学に係る検定料の額は、第28条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和43年10月25日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和46年12月23日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和47年4月1日から施行する。
- 2 昭和47年4月1日現に在学する者に係る授業料の額は、第30条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和47年4月1日以降に転学、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、第28条の規定にかかわらず、当該者の属する学年の在学者に係る額と同額とする。
- 4 昭和47年度において入学した者から徴収する同年度に係る授業料の額は、第30条第1項の規定にかかわらず、前期分 4,800円及び後期分 9,600円を合わせた額とし、当該前期又は後期の額を前期又は後期において徴収するものとする。
- 5 前項の規定が適用される者について、第31条の規定を適用する場合においては、昭和47年度に限り同条中「授業料の年額の12分の1」を「当該前期又は後期において徴収する授業料の額の6分の1」とする。
- 6 第4項の規定が適用される者については、第32条の規定を適用する場合においては、昭和47年度に限り同条中「授業料の年額の2分の1に相当する額」を「前期において徴収する授業料の額」とし、同条中「授業料の年額に相当する額」を第4項に規定する「前期 4,800円及び後期 9,600円を合わせた額」とする。
- 7 昭和47年度において入学を許可される者に係る授業料の額は、第29条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 8 昭和47年度の入学、転学、編入学又は再入学に係る検定料の額は、第28条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和51年4月1日から施行する。
- 2 昭和51年3月31日現に在学する者に係る授業料の額は、この規則による改正後の学則（以下「改正後の学則」という。）第30条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和51年度において入学した者に係る同年度に納付すべき授業料の額は、改正後の学則第30条第1項の規定にかかわらず、前期にあつては9,600円、後期にあつては21,600円とする。
- 4 昭和51年度に入学し、かつ、同年度の中途において退学する者に係る第32条の規定の適用については、同条中「授業料の年額の2分の1に相当する額」とあるのは「9,600円」と、「授業料の年額に相当する額」とあるのは「31,200円」とする。

附 則

- 1 この学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 2 昭和52年3月31日に在学する者に係る第13条第2項、第3項、第14条及び第15条の規定は、従前の例による。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和55年7月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 昭和53年3月31日に在学する者に係る教育課程については、従前の例による。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和61年10月9日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和61年12月1日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和62年3月6日から施行し、昭和61年9月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和63年4月6日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成元年4月3日から施行し、平成元年4月1日から適用する。
- 2 平成元年3月31日において現存する機械工学科の2学級については、第7条の規定にかかわ

らず昭和63年度以前に当該学科に入学した者が、その学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成元年9月6日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年2月13日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月3日から施行し、改正後の第13条第2項、同条第3項、第34条第2項及び同条第3項の規定は、平成3年4月1日から適用する。
- 2 昭和60年度までに電気工学科若しくは土木工学科に入学した者若しくは昭和63年度までに機械工学科に入学した者又は昭和63年度までに電気工学科4年若しくは土木工学科4年に編入学した者若しくは平成3年度までに機械工学科4年に編入学した者に係る学年ごとの授業科目及びその単位数並びに特別教育活動の単位時間数については、改正後の第13条第2項及び同条第3項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 改正後の学則第27条の2の規定は、この学則の施行の日（以下「施行日」という。）前に本校を卒業した者についても適用があるものとする。
- 3 施行日の前日に在学する者及び平成6年度までに編入学する者に係る施行日以降の学年ごとの授業科目及びその単位数は、改正後の学則第13条第2項（ただし書きの部分に限る。）から第4項までの規定にかかわらず、これらの者の在学する間、「阿南工業高等専門学校学則第13条の適用に関する暫定措置規則（平成4年3月6日規則第7号）」の定めるところによる。

附 則

- 1 この学則は、平成5年4月7日から施行し、平成5年4月1日から適用する。
- 2 土木工学科は、改正後の第7条の規定にかかわらず平成5年3月31日に当該学科に在学する者及び平成7年度までに編入学した者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 平成5年3月31日に在学する者及び平成7年度までに編入学した者に係る学年ごとの授業科目及びその単位数は、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月24日から施行し、平成8年4月1日から適用する。
- 2 平成8年3月31日に在学する者に係る第13条第3項の規定は、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成10年6月2日から施行し、平成10年4月1日から適用する。
- 2 平成10年3月31日に在学する者に係る第35条関係の規定は従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 平成11年3月31日に在学する者に係る第13条第3項の規定は、従前の例による。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年1月6日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 平成13年3月31日に在学する者に係る第13条第3項の規定は、従前の例による。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成14年4月24日から施行する。

2 電気工学科は、改正後の第7条及び別表第3の規定にかかわらず、平成14年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、第46条第1項及び第50条第4号の改正規定は、平成15年3月10日から施行する。

2 平成15年3月31日に在学する者並びに平成15年度及び平成16年度に編入学する者に係る学年ごとの授業科目及びその単位数は、改正後の別表第1から別表第5まで及び別表7から別表第9までの規定にかかわらず、別に定めるところによる。

3 平成15年3月31日に在学する者のうち、平成10年度以前に本科に入学した者及び平成13年度以前に専攻科に入学した者については、前項中「別に定めるところによる。」とあるのは、「なお従前の例による」と読み替えるものとする。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月28日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年9月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年5月21日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月2日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年7月9日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年11月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年9月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年10月12日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年11月14日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年3月3日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は平成26年4月1日から施行する。
- 2 この学則第7条、第7条の2、第13条、第20条及び別表の規定にかかわらず、第1条に規定する目的を達成するため、本校に次の学科を置く。
 - (1) 機械工学科
 - (2) 電気電子工学科
 - (3) 制御情報工学科
 - (4) 建設システム工学科
- 3 前項各号に規定する学科は、平成26年3月31日に当該学科に在学する者及び平成28年度までに編入学した者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年10月11日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年12月13日から施行する。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この学則第29条、第30条、第35条及び別表の規定にかかわらず、本校に次の専攻科を置く。

(1) 構造設計工学専攻

(2) 電気・制御システム工学専攻

3 前項各号に規定する専攻科は、平成31年3月31日に当該専攻科に在学する者が当該専攻科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年7月13日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和5年11月1日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和5年12月6日から施行し、令和5年12月6日から適用する。

附 則

この学則は、令和6年2月7日から施行し、令和5年9月1日から適用する。

附 則

1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。

2 第7条第2項の各プログラムの募集人員に関しては令和7年4月1日から適用する。

3 令和6年度以前の入学者については、従前の例による。

附 則

この学則は、令和6年5月15日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和6年7月3日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和6年10月2日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和6年12月4日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和7年2月12日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和7年5月14日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和7年6月23日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

一 般 教 養 教 育 課 程

(平成30年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	基礎数学 1	4	4					物理・化学・地学・生物を統合
	数学A	2	2					
	基礎数学 2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	数学C	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			
	英語 1	2	2					
	英語 2	2		2				
	英語 3	2			2			
	英語総合 1	2				*2		
	英語A	2	2					
	英語B	2		2				
	英語コミュニケーション基礎	2	2					
	英会話	2		2				
	英作文	2			2			
	理科総合	4	4					
	物理	4		2	2			
	物理実験・演習	1		1				
	化学	2		2				
	倫理	2	2					
	世界史	2		2				
	日本史	2			2			
	政治経済	2		2				
	地理	2			2			
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	66	22	25	17	2		
選択科目	日本語の表現	2					*2	哲学・法学の何れかを選択 [後期開講] 独・越・中・露などを並列開講[後期開講] 集中講義
	哲学	2				2		
	法学	2				2		
	保健	1	1					
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法	2				2		
	英語総合 2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	応用化学	1				1		
	選択科目合計単位数	17	3			8	6	
学内	一般科目合計単位数	83	25	25	17	10	6	
	一般科目履修可能単位数	81	25	25	17	8	6	
学外単位	協定校単位（一般）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（一般）	4						◎単位認定の上限：一般科目4単位
一般科目合計単位数		137	25	25	17	10	6	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		135	25	25	17	8	6	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

別表第1(第13条関係)

一般教養教育課程

(2019年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	基礎数学 1	4	4					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	数学A	2	2					
	基礎数学 2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	数学C	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			
	英語 1	2	2					
	英語 2	2		2				
	英語 3	2			2			
	英語総合 1	2				*2		
	英語A	2	2					
	英語B	2		2				
	英語コミュニケーション基礎	2	2					
	英会話	2		2				
	英作文	2			2			
	理科総合	2	2					[前期開講]
	物理 1	1	1					[後期開講]
	物理 2	2		2				[後期開講]
	物理 3	2			2			
	化学 1	1	1					
	化学 2	2		2				
	倫理	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	歴史総合	2		2				
	政治経済	2		2				
	地理	2			2			
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	63	22	24	15	2		
選択科目	日本語コミュニケーション	2					*2	日本語コミュニケーション、日本文芸のいずれかを選択 [前期開講]
	日本文芸	2					*2	
	日本語日本文化 1	1					1	日本語日本文化 1、日本語日本文化 2のいずれかを選択 [後期開講]
	日本語日本文化 2	1					1	
	哲学	2				2		哲学・法学のいずれかを選択
	法学	2				2		
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法 1	1				1		
	英語の語彙・文法 2	1				1		
	英語総合 2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	物理学基礎	2				2		
	選択科目合計単位数	21	2			9	10	
学内	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
学外単位	協定校単位（一般）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（一般）	4						◎単位認定の上限：一般科目4単位
一般科目合計単位数		138	24	24	15	11	10	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		133	24	24	15	9	7	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

一 般 教 養 教 育 課 程

(令和2年度～令和3年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	基礎数学 1	4	4					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	数学A	2	2					
	基礎数学 2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	線形代数	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			
	英語 1	2	2					
	英語 2	2		2				
	英語 3	2			2			
	英語総合 1	2				*2		
	英語A	2	2					
	英語B	2		2				
	英語コミュニケーション基礎	2	2					
	英会話	2		2				
	英作文	2			2			
	理科総合	2	2					[前期開講]
	物理 1	1	1					[後期開講]
	物理 2	2		2				[後期開講]
	物理 3	2			2			
	化学 1	1	1					
	化学 2	2		2				
	倫理	2	2					
	歴史総合	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	政治経済	2		2				
	地理	2			2			
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	63	22	24	15	2		
選択 科目	日本語コミュニケーション	2					*2	日本語コミュニケーション、日本文芸 のいずれかを選択 [前期開講]
	日本文芸	2					*2	
	日本語日本文化 1	1					1	日本語日本文化 1、日本語日本文化 2 のいずれかを選択 [後期開講]
	日本語日本文化 2	1					1	
	哲学	2				2		哲学・法学のいずれかを選択 ※留学生特別科目並列開講（別紙）
	法学	2				2		
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法 1	1				1		
	英語の語彙・文法 2	1				1		
	英語総合 2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	物理学基礎	2				2		
	選択科目合計単位数	21	2			9	10	
学 内	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
学 外 単 位	協定校単位（一般）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と （専門）を合計して50単位
	資格単位（一般）	4						◎単位認定の上限：一般科目4単位
一般科目合計単位数		138	24	24	15	11	10	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		133	24	24	15	9	7	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

別表第1(第13条関係)

一 般 教 養 教 育 課 程

(令和4年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	基礎数学1	4	4					
	数学A	2	2					
	基礎数学2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	線形代数	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語1	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語2	2		2				
	英語3	2			2			
	英語総合1	2				*2		
	英語A	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語B	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語コミュニケーション基礎	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英会話	2		2				
	英作文	2			2			
	理科総合	2	2					[前期開講]
	物理1	1	1					[後期開講]
	物理2	2		2				
	物理3	2			2			
	化学1	1	1					[後期開講]
	化学2	2		2				
	倫理	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	歴史総合	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	公共	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	地理総合	2			2			※留学生特別科目並列開講（別紙）
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	63	22	24	15	2		
選択 科目	日本語コミュニケーション	2					*2	日本語コミュニケーション、日本文芸 のいずれかを選択 [前期開講]
	日本文芸	2					*2	
	日本語日本文化1	1					1	日本語日本文化1、日本語日本文化2 のいずれかを選択 [後期開講]
	日本語日本文化2	1					1	
	哲学	2				2		哲学・法学のいずれかを選択 ※留学生特別科目並列開講（別紙）
	法学	2				2		
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法1	1				1		
	英語の語彙・文法2	1				1		
	英語総合2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	物理学基礎	2				2		
	選択科目合計単位数	21	2			9	10	
学 内	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
学 外 単 位	協定校単位（一般）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と （専門）を合計して50単位
	資格単位（一般）	4						◎単位認定の上限：一般科目4単位
一般科目合計単位数		138	24	24	15	11	10	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		133	24	24	15	9	7	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

一 般 教 養 教 育 課 程

(令和5年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	基礎数学1	4	4					
	数学A	2	2					
	基礎数学2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	線形代数	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語1	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語2	2		2				
	英語3	2			2			
	英語総合1	2				*2		
	英語A	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語B	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英語C	2			2			
	英語コミュニケーション基礎	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	英会話	2		2				
	理科総合	2	2					[前期開講]
	物理1	1	1					[後期開講]
	物理2	2		2				
	物理3	2			2			
	化学1	1	1					[後期開講]
	化学2	2		2				
	倫理	2	2					※留学生特別科目並列開講（別紙）
	歴史総合	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	公共	2		2				※留学生特別科目並列開講（別紙）
	地理総合	2			2			
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	63	22	24	15	2	—	
選択 科目	日本語コミュニケーション	2					*2	日本語コミュニケーション、日本文芸 のいずれかを選択 [前期開講]
	日本文芸	2					*2	
	日本語日本文化1	1					1	日本語日本文化1、日本語日本文化2 のいずれかを選択 [後期開講]
	日本語日本文化2	1					1	
	哲学	2				2		哲学・法学のいずれかを選択 ※留学生特別科目並列開講（別紙）
	法学	2				2		
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法1	1				1		
	英語の語彙・文法2	1				1		
	英語総合2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	物理学基礎	2				2		
	選択科目合計単位数	21	2			9	10	
学 内	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
学 外 単 位	協定校単位（一般）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と （専門）を合計して50単位
	資格単位（一般）	4						◎単位認定の上限：一般科目4単位
一般科目合計単位数		138	24	24	15	11	10	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		133	24	24	15	9	7	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

一 般 教 養 教 育 課 程

(令和6年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	基礎数学 1	4	4					
	数学A	2	2					
	基礎数学 2	4		4				
	数学B	2		2				
	微分積分	2			2			
	線形代数	2			2			
	日本語総合	5	2	2	1			※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	英語 1	2	2					※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	英語 2	2		2				
	英語 3	2			2			
	英語総合 1	2				*2		
	英語A	2	2					※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	英語B	2		2				※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	英語C	2			2			
	英語コミュニケーション基礎	2	2					※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	英会話	2		2				
	理科総合	2	2					[前期開講]
	物理 1	1	1					[後期開講]
	物理 2	2		2				
	物理 3	2			2			
	化学 1	1	1					[後期開講]
	化学 2	2		2				
	倫理	2	2					※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	歴史総合	2	2					※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	公共	2		2				※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	地理総合	2			2			※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	体育	6	2	2	2			
	必修科目合計単位数	63	24	22	15	2	0	
選択科目	日本語コミュニケーション	2					*2	日本語コミュニケーション、日本文芸のいずれかを選択 [前期開講]
	日本文芸	2					*2	
	日本語日本文化 1	1					1	日本語日本文化 1、日本語日本文化 2のいずれかを選択 [後期開講]
	日本語日本文化 2	1					1	
	哲学	2				2		哲学・法学のいずれかを選択 ※留学生特別科目並列開講 (別紙)
	法学	2				2		
	体育	2				1	1	
	美術・デザイン	2	2					
	英語の語彙・文法 1	1				1		
	英語の語彙・文法 2	1				1		
	英語総合 2	2					*2	
	第二外国語入門	1					1	
	物理学基礎	2				2		
	選択科目合計単位数	21	2	0	0	9	10	
学内	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
学外単位	協定校単位 (一般)	50	いずれかの学年でも修得可				協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位	
	資格単位 (一般)	4					◎単位認定の上限：一般科目4単位	
一般科目合計単位数		138	26	22	15	11	10	学外単位は、取得した学年に加算
一般科目履修可能単位数		133	26	22	15	9	7	

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

別表第 1 (第 1 3 条関係)

一 般 教 養 教 育 課 程 (留学生特別科目)

(令和 3 年度の入学生に適用)

必修選択の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	日本語Ⅲ	1			1			【3 年次】 日本語総合、地理に並列開講 【4 年次】 哲学・法学に並列開講
	日本語会話Ⅲ	1			1			
	日本事情	1			1			
	日本語特論	2				2		
	必修科目合計単位数	5	0	0	3	2		
一般科目(留学生特別科目)合計単位数		5	0	0	3	2	0	
一般科目履修可能単位数		5	0	0	3	2	0	

※留学生は、日本語レベルに基づき、日本学生対象科目と、留学生特別科目を選択可能とする。

別表第1(第13条関係)

一般教養教育課程(留学生特別科目)

(令和4年度～令和5年度の入学生に適用)

必修選択の別	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	日本語Ⅰ	4	4					【1年次】 日本語総合、英語1、英語A、英語コミュニケーション基礎、倫理に並列開講 【2年次】 日本語総合、公共、歴史総合、英語Bに並列開講 【3年次】 日本語総合、地理総合に並列開講 【4年次】 哲学・法学に並列開講
	日本語会話Ⅰ	4	4					
	日本語作文Ⅰ	2	2					
	日本語Ⅱ	4		4				
	日本語会話Ⅱ	2		2				
	日本語作文Ⅱ	2		2				
	日本語Ⅲ	1			1			
	日本語会話Ⅲ	1			1			
	日本事情	1			1			
	日本語特論	2				2		
	必修科目合計単位数	23	10	8	3	2	0	
一般科目(留学生特別科目)合計単位数		23	10	8	3	2	0	
一般科目履修可能単位数		23	10	8	3	2	0	

※留学生は、日本語レベルに基づき、日本学生対象科目と、留学生特別科目を選択可能とする。

別表第1(第13条関係)

一般教養教育課程(留学生特別科目)

(令和6年度以降の入学生に適用)

必修選択の別	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	日本語Ⅰ	4	4					【1年次】 日本語総合、英語1、英語A、英語コミュニケーション基礎、倫理、歴史総合に並列開講 【2年次】 日本語総合、公共、英語Bに並列開講 【3年次】 日本語総合、地理総合に並列開講 【4年次】 哲学・法学に並列開講
	日本語会話Ⅰ	4	4					
	日本語会話Ⅱ	2	2					
	日本語作文Ⅰ	2	2					
	日本語Ⅱ	4		4				
	日本語作文Ⅱ	2		2				
	日本語Ⅲ	1			1			
	日本語会話Ⅲ	1			1			
	日本事情	1			1			
	日本語特論	2				2		
	必修科目合計単位数	23	12	6	3	2	0	
一般科目(留学生特別科目)合計単位数		23	12	6	3	2	0	
一般科目履修可能単位数		23	12	6	3	2	0	

※留学生は、日本語レベルに基づき、日本学生対象科目と、留学生特別科目を選択可能とする。

専門共通教育課程

(令和6年以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー1	2	2					3年次に1単位配当
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	情報リテラシー2	2		2				
	プログラミング演習	1		1				
	確率統計	2				* 2		
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			
	必修科目合計単位数	14	8	3	1	2	0	
選択科目	データサイエンス	2			2			4年次に最大3単位配当
	データエンジニアリング	2				* 2		
	AI応用	2				* 2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		
	選択科目合計単位数	9	0	0	2	7	0	
専門共通科目合計単位数		23	8	3	3	9	0	
専門共通科目履修可能単位数		23	8	3	3	9	0	

* 学修単位を示す
 α : 1～3年次配当科目であり，3年次において単位認定する
 β : 1～4年次配当科目であり，4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する（最大3単位）

専門共通教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー1	2	2					高度情報教育プログラム対象科目
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	情報リテラシー2	2		2				高度情報教育プログラム対象科目
	プログラミング演習	1		1				高度情報教育プログラム対象科目
	確率統計	2				* 2		
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			3年次に1単位配当
	必修科目合計単位数	14	8	3	1	2	0	
選択 科目	データサイエンス	2			2			高度情報教育プログラム対象科目
	データエンジニアリング	2				* 2		高度情報教育プログラム対象科目
	AI応用	2				* 2		高度情報教育プログラム対象科目
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		4年次に最大3単位配当
	選択科目合計単位数	9	0	0	2	7	0	
専門共通科目合計単位数		23	8	3	3	9	0	
専門共通科目履修可能単位数		23	8	3	3	9	0	

* 学修単位を示す

 α : 1~3年次配当科目であり, 3年次において単位認定する β : 1~4年次配当科目であり, 4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する(最大3単位)

※選択科目のうち, データサイエンス, データエンジニアリング, AI応用は必ず履修すること。

※高度情報教育プログラム履修生は, 選択科目のうち, データサイエンス, データエンジニアリング, AI応用を全て修得すること。

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(平成30年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	機械製図	2		2				
	機械設計製図1	2			2			
	機械設計製図2	2				*2		
	機械設計製図3	2				*2		
	機械工作実習1	3		3				
	機械工作実習2	3			3			
	機械工学実験1	3				*3		
	機械工学実験2	2					*2	
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学1	1			1			
	機械力学2	2				*2		
	材料力学1	2			2			
	材料力学2	2				*2		
	材料力学3	2				*2		
	水力学1	2				*2		
	水力学2	2				*2		
	熱力学1	2				*2		
	熱力学2	2				*2		
	機械工作法1	2		2				
	機械工作法2	1			1			
	機械材料1	2		2				
	機械材料2	1			1			
	情報処理1	2				2		
	計測工学	2				*2		
	自動制御	2					*2	
	校外実習(インターンシップ)	1				1		
	共同教育	1				1		
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	塑性加工工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	75	7	9	12	31	16	
選択 科目	3次元CAD	1			1			
	機械工学ゼミナール	1				1		
	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	環境工学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	電磁気学	2				*2		副専門[後期開講]
	副専門(別紙参照)	2					*2	副専門[前期開講]
	情報処理2	2					*2	
	副専門(最大2科目)**	4					*4	副専門[後期開講]
	選択科目合計単位数	22			1	5	16	
学 内	専門科目合計単位数	97	7	9	13	36	32	
	一般科目合計単位数	83	25	25	17	10	6	
	開講講座合計単位数	180	32	34	30	46	38	
	専門科目履修可能単位数	97	7	9	13	36	32	
	一般科目履修可能単位数	81	25	25	17	8	6	
	履修可能単位数合計	178	32	34	30	44	38	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		238	32	34	30	44	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

** 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(2019年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	機械製図	2		2				
	機械設計製図1	2			2			
	機械設計製図2	2				*2		
	機械設計製図3	2				*2		
	機械工作実習1	4		4				
	機械工作実習2	4			4			
	機械工学実験1	4				*4		
	機械工学実験2	2					*2	
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学1	1			1			
	機械力学2	2				*2		
	材料力学1	2			2			
	材料力学2	2				*2		
	材料力学3	2				*2		
	水力学1	2				*2		
	水力学2	2				*2		
	熱力学1	2				*2		
	熱力学2	2				*2		
	機械工作法1	2		2				
	機械工作法2	1			1			
	機械材料1	2		2				
	機械材料2	1			1			
	情報処理1	2			2			
	計測工学	2				*2		
	自動制御	2					*2	
	インターンシップ	1				1		
	共同教育	1				1		
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	塑性加工工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	78	7	10	15	30	16	
選択 科目	3次元CAD	1			1			
	機械工学ゼミナール	1				1		
	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	環境工学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	電磁気学	2				*2		副専門[後期開講]
	副専門(別表参照)	2					*2	副専門[前期開講]
	情報処理2	2					*2	
	副専門(別表参照 最大2科目)**	4					*4	副専門[後期開講]
	選択科目合計単位数	22			1	5	16	
学 内	専門科目合計単位数	100	7	10	16	35	32	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	184	31	34	31	46	42	
	専門科目履修可能単位数	100	7	10	16	35	32	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	179	31	34	31	44	39	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		239	31	34	31	44	39	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

* * 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

別表第2(第13条関係)

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(令和2年度～令和3年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	機械製図	2		2				
	機械設計製図 1	2			2			
	機械設計製図 2	2				*2		
	機械設計製図 3	2				*2		
	機械工学実験実習 1	4		4				
	機械工学実験実習 2	4			4			
	機械工学実験実習 3	4				*4		
	機械工学実験実習 4	2					*2	
	3次元CAD	1			1			
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学 1	1			1			
	機械力学 2	2				*2		
	材料力学 1	2			2			
	材料力学 2	2				*2		
	材料力学 3	2				*2		
	水力学 1	2				*2		
	水力学 2	2				*2		
	熱力学 1	2				*2		
	熱力学 2	2				*2		
	機械工作法 1	2		2				
	機械工作法 2	1			1			
	機械材料 1	2		2				
	機械材料 2	1			1			
	情報処理 1	2			2			
	計測工学	2				*2		
	自動制御 1	2					*2	
	共同教育	1				1		
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	塑性加工工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン 1	1	α	α	α 1			3年次に1単位配当
	必修科目合計単位数	79	7	10	17	29	16	
選択科目	機械工学ゼミナール	1				1		
	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	環境工学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	自動制御 2	1					1	
	副専門 (別表参照)	2				*2		
	キャリアデザイン 2	3	β	β	β	β 3		4年次に最大3単位配当
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	3～5年 (前期) の実施年に1単位配当
	副専門 (別表参照)	2					*2	副専門 [前期開講]
	情報処理 2	2					*2	
	副専門 (別表参照 最大2科目) *	4					*4	副専門 [後期開講]
	選択科目合計単位数	26				8	18	
学内	専門科目合計単位数	105	7	10	17	37	34	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	189	31	34	32	48	44	
	専門科目履修可能単位数	105	7	10	17	37	34	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	184	31	34	32	46	41	
学外単位	協定校単位 (専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般) と (専門) を合計して50単位
	資格単位 (専門)	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		244	31	34	32	46	41	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

* * 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる (科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

 α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する (最大3単位) γ : 3～5年 (前期) 次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第2(第13条関係)

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(令和4年度～令和5年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	機械製図	2		2				
	機械設計製図 1	2			2			
	機械設計製図 2	2				*2		
	機械設計製図 3	2				*2		
	機械工学実験実習 1	4		4				
	機械工学実験実習 2	4			4			
	機械工学実験実習 3	4				*4		
	機械工学実験実習 4	2					*2	
	3次元CAD	1			1			
	機械数学	1			1			
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学基礎 1	1			1			
	機械力学基礎 2	1			1			
	機械力学	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	材料力学 1	2			2			
	材料力学 2	2				*2		
	材料力学 3	2				*2		
	水力学 1	2				*2		
	水力学 2	2				*2		
	熱力学 1	2				*2		
	熱力学 2	2				*2		
	機械工作法 1	2		2				
	機械工作法 2	1			1			
	機械材料 1	2		2				
	機械材料 2	1			1			
	プログラミング演習	2			2			
	計測工学	2				*2		
	自動制御 1	2					*2	
	確率統計	2				*2		
	塑性加工工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン 1	1	α	α	α	1		3年次に1単位配当
	必修科目合計単位数	81	8	10	19	28	16	
選択 科目	機械工学ゼミナール	1				1		
	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	自動制御 2	2					*2	
	ロボット工学	2					*2	
	データサイエンス	2				*2		
	データエンジニアリング	2					*2	
	AI応用	2					*2	
	キャリアデザイン 2	3	β	β	β	β	3	4年次に最大3単位配当
	インターンシップ	1			γ	γ	γ	3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	23				8	15	
学 内 単 位	専門科目合計単位数	104	8	10	19	36	31	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	188	32	34	34	47	41	
	専門科目履修可能単位数	104	8	10	19	36	31	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	183	32	34	34	45	38	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		243	32	34	34	45	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

 α ：1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β ：1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する（最大3単位） γ ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第2(第13条関係)

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(令和6年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	機械製図	2		2				
	機械設計製図 1	2			2			
	機械設計製図 2	2				*2		
	機械設計製図 3	2				*2		
	機械工学実験実習 1	4		4				
	機械工学実験実習 2	4			4			
	機械工学実験実習 3	4				*4		
	機械工学実験実習 4	2					*2	
	3次元CAD	1			1			
	機械数学	1			1			
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学基礎 1	1			1			
	機械力学基礎 2	1			1			
	機械力学	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	材料力学 1	2			2			
	材料力学 2	2				*2		
	材料力学 3	2				*2		
	水力学 1	2				*2		
	水力学 2	2				*2		
	熱力学 1	2				*2		
	熱力学 2	2				*2		
	機械工作法 1	2		2				
	機械工作法 2	1			1			
	機械材料 1	2		2				
	機械材料 2	1			1			
	情報処理	2			2			
	計測工学	2				*2		
	自動制御 1	2					*2	
	塑性加工工学	2					*2	
	キャリアデザイン 3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	71	0	10	18	27	16	
選択科目	機械工学ゼミナール	1				1		3～5年（前期）の実施年に1単位相当
	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	自動制御 2	2					*2	
	ロボット工学	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	選択科目合計単位数	14	0	0	0	3	11	
学内	専門科目合計単位数	85	0	10	18	30	27	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	192	34	35	36	50	37	
	専門科目履修可能単位数	85	0	10	18	30	27	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	187	34	35	36	48	34	
学外単位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		247	34	35	36	48	34	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり，実施年次において単位認定する

別表第2(第13条関係)

機 械 コ ー ス 教 育 課 程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	機械製図	2		2				
	機械設計製図 1	2			2			
	機械設計製図 2	2				*2		
	機械設計製図 3	2				*2		
	機械工学実験実習 1	4		4				
	機械工学実験実習 2	4			4			
	機械工学実験実習 3	4				*4		
	機械工学実験実習 4	2					*2	
	3次元CAD	1			1			
	機械数学	1			1			
	機械要素設計	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学基礎 1	1			1			
	機械力学基礎 2	1			1			
	機械力学	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	材料力学 1	2			2			
	材料力学 2	2				*2		
	材料力学 3	2				*2		
	水力学 1	2				*2		
	水力学 2	2				*2		
	熱力学 1	2				*2		
	熱力学 2	2				*2		
	機械工作法 1	2		2				
	機械工作法 2	1			1			
	機械材料 1	2		2				
	機械材料 2	1			1			
	情報処理	2			2			
	計測工学	2				*2		
	自動制御 1	2					*2	
	塑性加工工学	2					*2	
	キャリアデザイン 3	1				1		
	機械工学研究基礎	2				2		
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	73	0	10	18	29	16	
選択科目	メカトロニクス	2				*2		
	流体力学	2					*2	
	材料選択の科学	2					*2	
	伝熱工学	2					*2	
	自動制御 2	2					*2	
	ロボット工学	2					*2	
	デジタルエンジニアリング	2					*2	高度情報教育プログラム対象科目
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	15	0	0	0	2	13	
学内	専門科目合計単位数	88	0	10	18	31	29	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	195	34	35	36	51	39	
	専門科目履修可能単位数	88	0	10	18	31	29	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	190	34	35	36	49	36	
学外単位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		250	34	35	36	49	36	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

※選択科目のうち、デジタルエンジニアリングは必ず履修すること。

※高度情報教育プログラム(知能システムプログラム)履修生は、選択科目のうち、デジタルエンジニアリングを修得すること。

別表第3(第13条関係)

電 気 コー ス 教 育 課 程

(2019年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	電気回路論 1	2		2				
	電気回路論 2	2			2			
	電気回路論 3	2				*2		
	電気磁気学 1	2		2				
	電気磁気学 2	2			2			
	電気磁気学 3	2				*2		
	電子回路	2				*2		
	電子回路論	1				1		
	電子工学	1			1			
	電気電子材料	2				*2		
	半導体電子工学	2				*2		
	半導体デバイス	2					*2	
	電気機器工学 1	1			1			
	電気機器工学 2	2				*2		
	パワーエレクトロニクス	1					1	
	発電電工学	2					*2	
	送配電工学	2				*2		
	電気計測	2			2			
	制御工学 1	2				*2		
	制御工学 2	2					*2	
	ディジタル回路 1	1			1			
	ディジタル回路 2	1			1			
	プログラミング実習	1				*1		
	電気電子工学実験 1	4		4				
	電気電子工学実験 2	4			4			
	電気電子工学実験 3	4				*4		
	電気電子工学実験 4	4					*4	
	インターンシップ	1				1		
	共同教育	1				1		
	電子回路設計製作実習	2				*2		
	創造工学実習	2					*2	
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	卒業研究	10						10
	必修科目単位数合計	82	7	8	14	30	23	
選択 科目	電気電子製図	1		1				
	電気電子工学基礎	2			2			
	電気電子工学総合演習	1				1		
	電磁波工学	2				*2		
	通信工学理論	2					*2	
	無線工学	2				*2		
	熱力学	2				*2		
	副専門(別紙参照)	2					*2	副専門[後期開講] 副専門[前期開講]
	電気法規	1					1	
	電波法規	1					1	
	副専門(最大2科目)**	4					*4	副専門[後期開講]
	選択科目合計単位数	20		1	2	7	10	
学 内	専門科目合計単位数	102	7	9	16	37	33	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	186	31	33	31	48	43	
	専門科目履修可能単位数	102	7	9	16	37	33	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	181	31	33	31	46	40	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		241	31	33	31	46	40	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

** 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

電 気 コー ス 教 育 課 程

(令和2年度～令和3年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	電気回路論1	2		2				
	電気回路論2	2			2			
	電気回路論3	2				*2		
	電気磁気学1	2		2				
	電気磁気学2	2			2			
	電気磁気学3	2				*2		
	電子回路	2				*2		
	電子回路論	1				1		
	電子工学	1			1			
	電気電子材料	2				*2		
	半導体電子工学	2				*2		
	半導体デバイス	2					*2	
	電気機器工学1	1			1			
	電気機器工学2	2				*2		
	パワーエレクトロニクス	2					*2	
	発電工学	2				**2	※*2	隔年開講
	送配電工学	2				※*2	**2	隔年開講
	電気計測	2			2			
	制御工学1	2				*2		
	制御工学2	2					*2	
	デジタル回路1	1			1			
	デジタル回路2	1			1			
	プログラミング言語	2				*2		
	電気電子工学基礎	2			2			
	電気電子工学実験1	4		4				
	電気電子工学実験2	4			4			
	電気電子工学実験3	4				*4		
	電気電子工学実験4	4					*4	
	共同教育	1				1		
	電子回路設計製作実習	2				*2		
	創造工学実習	2					*2	
	確率統計	2				*2		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α1			3年次に1単位配当
	必修科目単位合計	84	7	8	17	28	24	
選択 科目	電気電子製図	1		1				
	電気電子工学総合演習	1				1		
	電磁波工学	2				*2		
	通信工学理論	2					*2	
	無線工学	2				*2		
	副専門(別表参照)	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β3		4年次に最大3単位配当
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	3年～5年前期の実施年に1単位配当
	副専門(別表参照)	2					*2	副専門[前期開講]
	電気法規	1					1	
	電波法規	1					1	
	副専門(別表参照 最大2科目)**	4					*4	副専門[後期開講]
	選択科目合計単位数	22		1		10	11	
学 内	専門科目合計単位数	106	7	9	17	38	35	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	190	31	33	32	49	45	
	専門科目履修可能単位数	106	7	9	17	38	35	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	185	31	33	32	47	42	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		245	31	33	32	47	42	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

** 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

α: 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する

β: 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する(最大3単位)

γ: 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

※: 奇数年度入学生に適用

#: 偶数年度入学生に適用

電 気 コー ス 教 育 課 程

(令和4年度～令和5年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					隔年開講 隔年開講
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	電気回路論1	2		2				
	電気回路論2	2			2			
	電気回路論3	2				*2		
	電気磁気学1	2		2				
	電気磁気学2	2			2			
	電気磁気学3	2				*2		
	電子回路	2				*2		
	電子回路論	1				1		
	電子工学	1			1			
	電気電子材料	2				*2		
	半導体電子工学	2				*2		
	半導体デバイス	2					*2	
	電気機器工学1	1			1			
	電気機器工学2	2				*2		
	パワーエレクトロニクス	2					*2	
	発電工学	2				※*2	※*2	
	送配電工学	2				※*2	※*2	
	電気計測	2			2			
	制御工学1	2				*2		
	制御工学2	2					*2	
	デジタル回路1	1			1			
	デジタル回路2	1			1			
	プログラミング言語	2				*2		
	電気電子工学基礎	2			2			
	電気電子工学実験1	4		4				
	電気電子工学実験2	4			4			
	電気電子工学実験3	4				*4		
	電気電子工学実験4	4					*4	
	電子回路設計製作実習	2				*2		
	創造工学実習	2					*2	
	確率統計	2				*2		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	$\alpha 1$			3年次に1単位配当
	必修科目単位合計	84	8	8	17	27	24	
選択 科目	電気電子製図	1		1				4年次に最大3単位配当 3年～5年前期の実施年に1単位配当
	電気電子工学総合演習	1				1		
	電磁波工学	2				*2		
	通信工学理論	2					*2	
	無線工学	2				*2		
	データサイエンス	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	$\beta 3$		
	インターンシップ	1			γ	γ	$\gamma 1$	
	データエンジニアリング	2					*2	
	電気法規	1					1	
	電波法規	1					1	
	AI応用	2					*2	
	選択科目合計単位数	20		1		10	9	
学 内	専門科目合計単位数	104	8	9	17	37	33	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	188	32	33	32	48	43	
	専門科目履修可能単位数	104	8	9	17	37	33	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	183	32	33	32	46	40	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		243	32	33	32	46	40	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

 α ：1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β ：1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する（最大3単位） γ ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

※：奇数年度入学生に適用

#：偶数年度入学生に適用

電 気 コー ス 教 育 課 程

(令和6年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	電気回路論1	2		2				隔年開講 隔年開講
	電気回路論2	2			2			
	電気回路論3	2				*2		
	電気磁気学1	2		2				
	電気磁気学2	2			2			
	電気磁気学3	2				*2		
	電子回路	2				*2		
	電子回路論	1				1		
	電子工学	1			1			
	電気電子材料	2				*2		
	半導体電子工学	2				*2		
	半導体デバイス	2					*2	
	電気機器工学1	1			1			
	電気機器工学2	2				*2		
	パワーエレクトロニクス	2					*2	
	発電工学	2				#*2	※*2	
	送配電工学	2				※*2	#*2	
	電気計測	2			2			
	制御工学1	2				*2		
	制御工学2	2					*2	
	ディジタル回路1	1			1			
	ディジタル回路2	1			1			
	プログラミング言語	1			1			
	電気電子工学実験1	4		4				
	電気電子工学実験2	4			4			
	電気電子工学実験3	4				*4		
	電気電子工学実験4	4					*4	
	電子回路設計製作実習	2				*2		
	創造工学実習	2					*2	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目単位数合計	71	0	8	15	24	24	
選択 科目	電気電子製図	1		1				3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	電気電子工学総合演習	1				1		
	電磁波工学	2				*2		
	通信工学理論	2					*2	
	無線工学	2				*2		
	電気法規	1					1	
	電波法規	1					1	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	選択科目合計単位数	11	0	1	0	5	5	
学 内	専門科目合計単位数	82	0	9	15	29	29	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	189	34	34	33	49	39	
	専門科目履修可能単位数	82	0	9	15	29	29	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	184	34	34	33	47	36	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		244	34	34	33	47	36	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

※：奇数年度入学生に適用

#：偶数年度入学生に適用

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

電 気 コー ス 教 育 課 程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	電気回路論1	2		2				隔年開講 隔年開講
	電気回路論2	2			2			
	電気回路論3	2				*2		
	電気磁気学1	2		2				
	電気磁気学2	2			2			
	電気磁気学3	2				*2		
	電子回路	2				*2		
	電子回路論	1				1		
	電子工学	1			1			
	電気電子材料	2				*2		
	半導体電子工学	2				*2		
	半導体デバイス	2					*2	
	電気機器工学1	1			1			
	電気機器工学2	2				*2		
	パワーエレクトロニクス	2					*2	
	発電工学	2				※*2	#*2	
	送配電工学	2				#*2	※*2	
	電気計測	2			2			
	制御工学1	2				*2		
	制御工学2	2					*2	
	ディジタル回路1	1			1			
	ディジタル回路2	1			1			
	プログラミング言語	1			1			
	電気電子工学実験1	4		4				
	電気電子工学実験2	4			4			
	電気電子工学実験3	4				*4		
	電気電子工学実験4	4					*4	
	電子回路設計製作実習	2				*2		
	創造工学実習	2					*2	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目単位合計	71	0	8	15	24	24	
選択 科目	電気電子製図	1		1				高度情報教育プログラム対象科目 3～5年(前期)の実施年に1単位配当
	電気電子工学総合演習	1				1		
	電磁波工学	2				*2		
	通信工学理論	2					*2	
	無線工学	2				*2		
	電気法規	1					1	
	電波法規	1					1	
	光情報工学	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	選択科目合計単位数	13	0	1	0	5	7	
学 内	専門科目合計単位数	84	0	9	15	29	31	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	191	34	34	33	49	41	
	専門科目履修可能単位数	84	0	9	15	29	31	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	186	34	34	33	47	38	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		246	34	34	33	47	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

※: 奇数年度入学生に適用

#: 偶数年度入学生に適用

γ: 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

※選択科目のうち、光情報工学は必ず履修すること。

※高度情報教育プログラム(光情報プログラム)履修生は、選択科目のうち、光情報工学を修得すること。

情報コース教育課程

(令和3年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	ものづくり工学	3	3					
	デザイン基礎	2	2					
	プログラミング演習	4		2	2			
	データ構造とアルゴリズム	2		2				
	電気電子工学1	1		1				
	電気電子工学2	1			1			
	デジタル回路基礎	2		2				
	デジタル回路基礎実習	2			2			
	情報数学	2				*2		
	データベース	2				*2		
	電子計測基礎	2				*2		
	確率統計	2				*2		
	力学	2				*2		
	共同教育	1					1	
	システム設計1	2				*2		
	システム設計2	2				*2		
	オペレーティングシステム	2				*2		
	情報通信ネットワーク	2				*2		
	計算機工学	2				*2		
	数値計算	2				*2		
	情報処理演習	2			2			
	コンパイラ	2					*2	
	情報理論	2				*2		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			
	必修科目合計単位数	59	7	7	8	25	12	
選択 科目	計算機基礎演習	2		2				[前期] [後期] 4年次に最大3単位配当 3年～5年(前期)の実施年に1単位配当 副専門[前期開講] 副専門[後期開講]
	情報処理基礎演習	2		2				
	ソフトウェア設計	2			2			
	組み込みシステム	1			1			
	組み込みシステム実習	3			3			
	文献講読	2				2		
	デジタル信号処理	2				*2		
	創造工学ゼミナール	2				2		
	電子回路1	2				*2		
	電子回路2	2					*2	
	言語処理	2					*2	
	メディア情報処理	2					*2	
	組み込みシステム応用実習	2				*2		
	システム創造実習	2					*2	
	機械学習基礎	2				*2		
	事例研究1	1			1			
	事例研究2	1			1			
	副専門(別表参照)	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	副専門(別表参照)	2					*2	
	離散数学	2					*2	
	副専門(別表参照 最大2科目)*	4					*4	
	選択科目合計単位数	46		4	8	17	17	
学 内	専門科目合計単位数	105	7	11	16	42	29	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	189	31	35	31	53	39	
	専門科目履修可能単位数	105	7	11	16	42	29	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	184	31	35	31	51	36	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		244	31	35	31	51	36	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

* * 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

 α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する(最大3単位) γ : 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

情報コース教育課程

(令和4年度～令和5年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	ものづくり工学	4	4					
	デザイン基礎	2	2					
	プログラミング演習	4		2	2			
	データ構造とアルゴリズム	2		2				
	電気電子工学1	1		1				
	電気電子工学2	1			1			
	デジタル回路基礎	2		2				
	デジタル回路基礎実習	2			2			
	情報数学	2				*2		
	データベース	2				*2		
	電子計測基礎	2				*2		
	確率統計	2				*2		
	力学	2				*2		
	システム設計1	2				*2		
	システム設計2	2				*2		
	オペレーティングシステム	2				*2		
	情報通信ネットワーク	2					*2	
	計算機工学	2				*2		
	数値計算	2				*2		
	情報処理演習	2			2			
	コンパイラ	2					*2	
	情報理論	2				*2		
	卒業研究	10					10	
選択 科目	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			4年次に最大3単位配当 3年～5年(前期)の実施年に1単位配当
	必修科目合計単位数	59	8	7	8	22	14	
	計算機基礎演習	2		2				
	情報処理基礎演習	2		2				
	ソフトウェア設計	2			2			
	組み込みシステム	1			1			
	組み込みシステム実習	3			3			
	事例研究1	1			1			
	事例研究2	1			1			
	文献講読	2				2		
	創造工学ゼミナール	2				2		
	デジタル信号処理	2				*2		
	組み込みシステム応用実習	2				*2		
	機械学習基礎	2				*2		
	電子回路1	2				*2		
	電子回路2	2					*2	
	言語処理	2					*2	
	メディア情報処理	2					*2	
	システム創造実習	2					*2	
	離散数学	2					*2	
	データサイエンス	2			2			
	データエンジニアリング	2				*2		
	AI応用	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	選択科目合計単位数	44		4	10	19	11	
学 内	専門科目合計単位数	103	8	11	18	41	25	協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	187	32	35	33	52	35	
	専門科目履修可能単位数	103	8	11	18	41	25	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	182	32	35	33	50	32	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					◎単位認定の上限: 専門科目6単位
	資格単位(専門)	6						
総履修可能単位数合計		242	32	35	33	50	32	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

 α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する(最大3単位) γ : 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第4(第13条関係)

情報コース教育課程

(令和6年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	ディジタル回路基礎	2		2				
	ディジタル回路基礎実習	2		2				
	プログラミング演習2	2			2			
	電気回路基礎	1			1			
	情報処理演習	2			2			
	離散数学1	2				*2		
	データベース	2				*2		
	電子計測基礎	2				*2		
	システム設計1	2				*2		
	システム設計2	2				*2		
	オペレーティングシステム	2				*2		
	計算機工学	2				*2		
	数値計算	2				*2		
	情報通信ネットワーク	2				*2		
	文献講読	2				2		
	創造工学ゼミナール1	2				2		
	創造工学ゼミナール2	2				2		
	情報理論	2					*2	
	コンパイラ	2					*2	
	サイバーセキュリティ	2					*2	
	プレゼンテーション実習1	1					1	
	プレゼンテーション実習2	1					1	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	52	0	4	5	25	18	
選択 科目	計算機基礎演習	2		2				[前期] [後期]
	情報処理基礎演習	3		3				
	ソフトウェア設計	2			2			
	組み込みシステム	1			1			
	組み込みシステム実習	3			3			
	事例研究1	1			1			
	事例研究2	1			1			
	情報数学演習1	2			2			
	ディジタル信号処理	2				*2		
	組み込みシステム応用実習	2				*2		
	電子回路1	2				*2		
	情報数学演習2	1				1		
	電子回路2	2					*2	
	自然言語処理	2					*2	
	音声・画像処理	2					*2	
	システム創造実習	2					2	
	離散数学2	2					*2	
	電気電子工学	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	選択科目合計単位数	35	0	5	10	7	13	
学 内	専門科目合計単位数	87	0	9	15	32	31	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	194	34	34	33	52	41	
	専門科目履修可能単位数	87	0	9	15	32	31	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	189	34	34	33	50	38	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		249	34	34	33	50	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第4(第13条関係)

情報コース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	ディジタル回路基礎	2		2				
	ディジタル回路基礎実習	2		2				
	プログラミング演習2	2			2			
	電気回路基礎	1			1			
	情報処理演習	2			2			
	離散数学1	2				*2		
	データベース	2				*2		
	電子計測基礎	2				*2		
	システム設計1	2				*2		
	システム設計2	2				*2		
	オペレーティングシステム	2				*2		
	計算機工学	2				*2		
	数値計算	2				*2		
	情報通信ネットワーク	2				*2		
	文献講読	2				2		
	創造工学ゼミナール1	2				2		
	創造工学ゼミナール2	2				2		
	情報理論	2					*2	
	コンパイラ	2					*2	
	サイバーセキュリティ	2					*2	
	プレゼンテーション実習1	1					1	
	プレゼンテーション実習2	1					1	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10						10
	必修科目合計単位数	52	0	4	5	25		18
選択 科目	計算機基礎演習	2		2				[前期] [後期]
	情報処理基礎演習	3		3				
	ソフトウェア設計	2			2			
	組み込みシステム	2			2			
	組み込みシステム実習	2			2			
	事例研究1	1			1			
	事例研究2	1			1			
	情報数学演習1	2			2			
	ディジタル信号処理	2				*2		
	組み込みシステム応用実習	2				*2		
	電子回路1	2				*2		
	情報数学演習2	1				1		
	電子回路2	2					*2	
	自然言語処理	2					*2	
	音声・画像処理	2					*2	
	システム創造実習	2					2	
	離散数学2	2					*2	
	電気電子工学	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	選択科目合計単位数	35	0	5	10	7	13	
学 内	専門科目合計単位数	87	0	9	15	32	31	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	194	34	34	33	52	41	
	専門科目履修可能単位数	87	0	9	15	32	31	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	189	34	34	33	50	38	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		249	34	34	33	50	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(平成30年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	測量学1	2		2				
	測量学2	2			2			
	測量実習1	2		2				
	測量実習2	2			2			
	材料学1	1				1		
	材料学2	2				*2		
	構造材料実験	1				1		
	コンクリート構造学	2					*2	
	建設構造力学1	2			2			
	建設構造力学2	2				2		
	建設構造力学3	1					1	
	構造工学1	2				*2		
	構造工学2	2				*2		
	構造工学3	2					*2	
	構造設計製図	2				1	1	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	水理実験	1				1		
	土質工学	1			1			
	地盤工学	2				2		
	土質実験	1				1		
	施工管理学	2					*2	
	都市計画	2				*2		
	地域計画	2				*2		
	交通工学	1					1	
	基礎製図	1		1				
	環境学概論	1		1				
	CAD製図	1		1				
	環境工学1	2				*2		
	環境工学2	2					*2	
	環境実験	1					1	
	データ処理	1			1			
	プログラミング1	2			2			
	プログラミング2	1				1		
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	校外実習	1				1		
	共同教育	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目単位合計	78	7	7	12	30	22	
選択 科目	建築製図	1			1			
	建築設計製図 1	2				*2		
	建築設計製図 2	2					*2	
	建築計画	2		2				
	建築環境工学	1				1		
	建築設備	1				1		
	電磁気学	2				*2		
	副専門(別紙参照)	2					*2	副専門[後期開講] 副専門[前期開講]
	建築史	1					1	
	建築法規	1					1	
	副専門(最大2科目)**	4					*4	副専門[後期開講]
	選択科目合計単位数	19		2	1	6	10	
学 内	専門科目合計単位数	97	7	9	13	36	32	
	一般科目合計単位数	83	25	25	17	10	6	
	開講講座合計単位数	180	32	34	30	46	38	
	専門科目履修可能単位数	97	7	9	13	36	32	
	一般科目履修可能単位数	81	25	25	17	8	6	
	履修可能単位数合計	178	32	34	30	44	38	
学 外 単 位	協定校単位 (専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位 (専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		238	32	34	30	44	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

** 5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(令和2年度～令和3年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	測量学1	2		2				
	測量学2	2			2			
	測量実習1	2		2				
	測量実習2	3			3			
	材料学	2				*2		
	構造力学基礎	1		1				
	構造力学1	2			2			
	構造力学2	2				*2		
	構造力学3	2				*2		
	構造工学1	2				*2		
	構造工学2	2					*2	
	構造工学3	2					*2	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	土質工学	2			2			
	地盤工学	2				*2		
	施工管理学	2				*2		
	都市計画	2				*2		
	地域計画	2				*2		
	基礎製図	1		1				
	環境学概論	1		1				
	CAD製図	1		1				
	環境工学	2				*2		
	プログラミング	2					*2	
	建設工学実験1	2				*2		
	建設工学実験2	2				*2		
	建設工学実験3	2					*2	
	建設基礎演習	2			2			
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	共同教育	1				1		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			
	必修科目単位数合計	76	7	8	14	29	18	
選択 科目	建設工学演習1	2			2			4年次に最大3単位配当 3年～5年(前期)の実施年に1単位配当 副専門〔前期開講〕 副専門〔後期開講〕
	建設工学演習2	2				2		
	建設工学ゼミナール	1				1		
	建築製図	1		1				
	デザイン設計1	2			2			
	デザイン設計2	2					*2	
	建築計画1	2		2				
	建築計画2	2				*2		
	建築計画3	2					*2	
	建設法規	2					*2	
	副専門(別表参照)	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β 3			
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	副専門(別表参照)	2					*2	
	副専門(別表参照 最大2科目)**	4					*4	
	選択科目合計単位数	30	0	3	4	10	13	
学 内	専門科目合計単位数	106	7	11	18	39	31	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	190	31	35	33	50	41	
	専門科目履修可能単位数	106	7	11	18	39	31	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	185	31	35	33	48	38	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限: 専門科目6単位
総履修可能単位数合計		245	31	35	33	48	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

**5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる(科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可)

 α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する(最大3単位) γ : 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(令和4年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	測量学1	2		2				
	測量学2	2			2			
	測量実習1	2		2				
	測量実習2	3			3			
	材料学	2				*2		
	構造力学基礎	1		1				
	構造力学1	2			2			
	構造力学2	2				*2		
	構造力学3	2				*2		
	構造工学1	2				*2		
	構造工学2	2					*2	
	構造工学3	2					*2	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	土質工学	2			2			
	地盤工学	2				*2		
	施工管理学	2				*2		
	都市計画	2				*2		
	地域計画	2				*2		
	基礎製図	1		1				
	環境学概論	1		1				
	CAD製図	1		1				
	環境工学	2				*2		
	プログラミング	2					*2	
	建設工学実験1	2				*2		
	建設工学実験2	2				*2		
	建設工学実験3	2					*2	
	建設基礎演習	2			2			
	確率統計	2				*2		
	工業力学	2				*2		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			
	必修科目単位数合計	76	8	8	14	28	18	
選択 科目	建設工学演習1	2			2			4年次に最大3単位配当 3年～5年(前期)の実施年に1単位配当
	建設工学演習2	2				2		
	建設工学ゼミナール	1				1		
	建築製図	1		1				
	デザイン設計1	2			2			
	デザイン設計2	2					*2	
	建築計画1	2		2				
	建築計画2	2				*2		
	建築計画3	2					*2	
	建設法規	2					*2	
	データサイエンス	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	データエンジニアリング	2					*2	
	A I 応用	2					*2	
	選択科目合計単位数	28	0	3	4	10	11	
学 内	専門科目合計単位数	104	8	11	18	38	29	協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位 ◎単位認定の上限：専門科目6単位
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	188	32	35	33	49	39	
	専門科目履修可能単位数	104	8	11	18	38	29	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	183	32	35	33	47	36	
学 外 単 位	協定校単位(専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位(専門)	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		243	32	35	33	47	36	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する

β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポートにに応じて単位認定する(最大3単位)

γ : 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(令和5年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	情報リテラシー	2	2					
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	建設ミニ研究 1	1		1				
	建設ミニ研究 2	1			1			
	測量学・実習 1	4		4				
	測量学・実習 2	4			4			
	建設工学基礎	1		1				
	構造力学基礎	1		1				
	構造力学 1	2			2			
	構造力学 2	2				*2		
	構造力学 3	2					*2	
	材料学	1			1			
	維持管理工学	2				*2		
	橋梁工学	2				*2		
	構造デザイン 1	2				*2		
	構造デザイン 2	2					*2	
	CAD製図	1					1	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	土質工学	2			2			
	地盤工学	2				*2		
	施工管理学	2				*2		
	まちづくり学 1	2				*2		
	まちづくり学 2	2				*2		
	環境工学 1	1			1			
	環境工学 2	2				*2		
	建設工学実験 1	2				*2		
	建設工学実験 2	2				*2		
	建設工学実験 3	2					*2	
	建設基礎演習	2			2			
	建築製図	1		1				
	建築計画 1	2		2				
	デザイン設計 1	2			2			
	建設法規	2					*2	
	確率統計	2				*2		
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン 1	1	α	α	α 1			3年次に1単位配当
	必修科目単位数合計	81	8	10	18	26	19	
選択 科目	建設工学演習 1	2			2			
	建設工学演習 2	2				2		
	建設工学ゼミナール	1				1		
	技術文章読解・作成	1					1	
	デザイン設計 2	2				*2		
	建築計画 2	2				*2		
	建築計画 3	2					*2	
	データサイエンス	2				*2		
	データエンジニアリング	2					*2	
	AI応用	2					*2	
	キャリアデザイン 2	3	β	β	β	β 3		4年次に最大3単位配当
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	3年～5年(前期)の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	22			2	12	8	
学 内	専門科目合計単位数	103	8	10	20	38	27	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	187	32	34	35	49	37	
	専門科目履修可能単位数	103	8	10	20	38	27	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	182	32	34	35	47	34	
学 外 単 位	協定校単位 (専門)	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、(一般)と(専門)を合計して50単位
	資格単位 (専門)	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		242	32	34	35	47	34	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

α : 1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する

β : 1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポートにに応じて単位認定する(最大3単位)

γ : 3～5年(前期)次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	建設ミニ研究 1	1		1				
	建設ミニ研究 2	1			1			
	測量学・実習 1	4		4				
	測量学・実習 2	4			4			
	建設工学基礎	1		1				
	構造力学基礎	1		1				
	構造力学 1	2			2			
	構造力学 2	2				*2		
	構造力学 3	2					*2	
	材料学	1			1			
	維持管理工学	2				*2		
	橋梁工学	2				*2		
	構造デザイン 1	2				*2		
	構造デザイン 2	2					*2	
	CAD製図	1					1	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	土質工学	2			2			
	地盤工学	2				*2		
	施工管理学	2				*2		
	まちづくり学 1	2				*2		
	まちづくり学 2	2				*2		
	環境工学 1	1			1			
	環境工学 2	2				*2		
	建設工学実験 1	2				*2		
	建設工学実験 2	2				*2		
	建設工学実験 3	2					*2	
	建設基礎演習	1			1			
	建築製図	1		1				
	建築計画 1	2		2				
	デザイン設計 1	2			2			
	建設法規	2					*2	
	キャリアデザイン 3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目単位数合計	70	0	10	16	25	19	
選択 科目	建設工学演習 1	1			1			
	建設工学演習 2	2				2		
	建設工学ゼミナール	1				1		
	技術文章読解・作成	1					1	
	デザイン設計 2	2				*2		
	建築計画 2	2				*2		
	建築計画 3	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	12	0	0	1	7	4	
学 内	専門科目合計単位数	82	0	10	17	32	23	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	189	34	35	35	52	33	
	専門科目履修可能単位数	82	0	10	17	32	23	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	184	34	35	35	50	30	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		244	34	35	35	50	30	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊ 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第5(第13条関係)

建設コース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	建設ミニ研究1	1		1				
	建設ミニ研究2	1			1			
	測量学・実習1	4		4				
	測量学・実習2	4			4			
	建設工学基礎	1		1				
	構造力学基礎	1		1				
	構造力学1	2			2			
	構造力学2	2				*2		
	構造力学3	2					*2	
	材料学	1			1			
	維持管理工学	2				*2		
	橋梁工学	2				*2		
	構造デザイン1	2				*2		
	構造デザイン2	2					*2	
	CAD製図	1					1	
	水理学	2			2			
	水工学	2				*2		
	土質工学	2			2			
	地盤工学	2				*2		
	施工管理学	2				*2		
	まちづくり学1	2				*2		
	まちづくり学2	2				*2		
	環境工学1	1			1			
	環境工学2	2				*2		
	建設工学実験1	2				*2		
	建設工学実験2	2				*2		
	建設工学実験3	2					*2	
	建設基礎演習	1			1			
	建築製図	1		1				
	建築計画1	2		2				
	デザイン設計1	2			2			
	建設法規	2					*2	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目単位数合計	70	0	10	16	25	19	
選択 科目	建設工学演習1	1			1			
	建設工学演習2	2				2		
	建設工学ゼミナール	1				1		
	技術文章読解・作成	1					1	
	デザイン設計2	2				*2		
	建築計画2	2				*2		
	建築計画3	2					*2	
	建設・情報エンジニアリング	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	選択科目合計単位数	13	0	0	1	7	5	
学 内	専門科目合計単位数	83	0	10	17	32	24	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	190	34	35	35	52	34	
	専門科目履修可能単位数	83	0	10	17	32	24	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	185	34	35	35	50	31	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		245	34	35	35	50	31	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

＊学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

※選択科目のうち、建設・情報エンジニアリングは必ず履修すること。

※高度情報教育プログラム（スマート都市・建築デザインプログラム）履修生は、選択科目のうち、建設・情報エンジニアリングを修得すること。

別表第6(第13条関係)

化学コース教育課程

(令和3年度の入学生に適用)

必修選択の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	3	3					
	有機化学基礎	1		1				
	無機化学基礎	1		1				
	化学工学基礎	1		1				
	生物学基礎	1		1				
	物質化学基礎実験1	2		2				
	物質化学基礎実験2	2		2				
	基礎物理学1	2			2			
	有機化学1	2			2			
	無機化学1	2			2			
	物理化学1	2			2			
	化学工学1	1			1			
	創造化学セミナー	1			1			
	生物学	2			2			
	物質化学実験・演習1	2			2			
	物質化学実験・演習2	2			2			
	分析化学	2			2			
	確率統計	2				*2		
	基礎物理学2	2				*2		
	有機化学2	2				*2		
	無機化学2	2				*2		
	物理化学2	2				*2		
	物理化学3	2				*2		
	化学工学2	2				*2		
	生化学1	2				*2		
	生化学2	2				*2		
	無機化学特論	2				*2		
	有機化学特論	2				*2		
	物質化学実験・演習3	2				*2		
	創造化学実験	2				2		
	共同教育	1				1		
	生物工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α1			
	必修科目合計単位数	73	7	8	19	27	12	
選択科目	基礎プログラミング	2				*2		4年次に最大3単位配当 3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	環境工学	2				*2		
	機器分析	2				*2		
	副専門（別表参照）	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β3		
	インターンシップ	1			γ	γ	γ1	
	高分子化学	2					*2	
	有機反応化学	2					*2	
	無機固体化学	2					*2	
	量子化学1	2					*2	
	量子化学2	2					*2	
	材料工学	2					*2	
	副専門（別表参照）	2					*2	
	副専門（別表参照 最大2科目）**	4					*4	
	選択科目合計単位数	30				11	19	
学内	専門科目合計単位数	103	7	8	19	38	31	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	187	31	32	34	49	41	
	専門科目履修可能単位数	103	7	8	19	38	31	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	182	31	32	34	47	38	
学外単位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		242	31	32	34	47	38	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

* *5年生で配属された副専門コースの任意の科目を選択できる。（科目担当教員に申請し、許可が出た場合受講可）

α：1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する

β：1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する（最大3単位）

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第6(第13条関係)

化学コース教育課程

(令和4年度～令和5年度の入学生に適用)

必修選択の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					3年次に1単位配当
	デザイン基礎	2	2					
	ものづくり工学	4	4					
	有機化学基礎	1		1				
	無機化学基礎	1		1				
	化学工学基礎	1		1				
	生物学基礎	1		1				
	物質化学基礎実験1	2		2				
	物質化学基礎実験2	2		2				
	基礎物理学1	2			2			
	有機化学1	2			2			
	無機化学1	2			2			
	物理化学1	2			2			
	化学工学1	1			1			
	創造化学セミナー	1			1			
	生物学	2			2			
	物質化学実験・演習1	2			2			
	物質化学実験・演習2	2			2			
	分析化学	2			2			
	確率統計	2				*2		
	基礎物理学2	2				*2		
	有機化学2	2				*2		
	無機化学2	2				*2		
	物理化学2	2				*2		
	物理化学3	2				*2		
	化学工学2	2				*2		
	生化学1	2				*2		
	生化学2	2				*2		
	無機化学特論	2				*2		
	有機化学特論	2				*2		
	物質化学実験・演習3	2				*2		
	創造化学実験	2				2		
	生物工学	2					*2	
	卒業研究	10					10	
	キャリアデザイン1	1	α	α	α 1			
	必修科目合計単位数	73	8	8	19	26	12	
選択科目	化学数学	2				*2		4年次に最大3単位配当 3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	環境工学	2				*2		
	機器分析	2				*2		
	データサイエンス	2				*2		
	キャリアデザイン2	3	β	β	β	β 3		
	インターンシップ	1			γ	γ	γ 1	
	高分子化学	2					*2	
	有機反応化学	2					*2	
	無機固体化学	2					*2	
	量子化学1	2					*2	
	量子化学2	2					*2	
	材料工学	2					*2	
	データエンジニアリング	2					*2	
	AI応用	2					*2	
	選択科目合計単位数	28				11	17	
学内	専門科目合計単位数	101	8	8	19	37	29	
	一般科目合計単位数	84	24	24	15	11	10	
	開講講座合計単位数	185	32	32	34	48	39	
	専門科目履修可能単位数	101	8	8	19	37	29	
	一般科目履修可能単位数	79	24	24	15	9	7	
	履修可能単位数合計	180	32	32	34	46	36	
学外単位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		240	32	32	34	46	36	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

α ：1～3年次配当科目であり、3年次において単位認定する

β ：1～4年次配当科目であり、4年次においてこれまで取得したキャリアポイントに応じて単位認定する（最大3単位）

γ ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第6(第13条関係)

化学コース教育課程

(令和6年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	有機化学基礎	1		1				
	無機化学基礎	1		1				
	化学工学基礎	1		1				
	生物学基礎	1		1				
	物質化学基礎実験1	2		2				
	物質化学基礎実験2	2		2				
	基礎物理学1	2			2			
	有機化学1	2			2			
	無機化学1	2			2			
	物理化学1	2			2			
	化学工学1	1			1			
	創造化学セミナー	1			1			
	生物学	2			2			
	物質化学実験・演習1	2			2			
	物質化学実験・演習2	2			2			
	分析化学	2			2			
	基礎物理学2	2				*2		
	有機化学2	2				*2		
	無機化学2	2				*2		
	物理化学2	2				*2		
	物理化学3	2				*2		
	化学工学2	2				*2		
	生化学1	2				*2		
	生化学2	2				*2		
	無機化学特論	2				*2		
	有機化学特論	2				*2		
	物質化学実験・演習3	2				*2		
	創造化学実験	2				2		
	生物工学	2					*2	
	キャリアデザイン3	1				1		
	卒業研究	10					10	
	必修科目合計単位数	63	0	8	18	25	12	
選択 科目	化学数学	2				*2		
	環境工学	2				*2		
	機器分析	2				*2		
	高分子化学	2					*2	
	有機反応化学	2					*2	
	無機固体化学	2					*2	
	量子化学1	2					*2	
	量子化学2	2					*2	
	材料工学	2					*2	
	インターンシップ	1			γ	γ	γ	3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	19	0	0	0	6	13	
学 内	専門科目合計単位数	82	0	8	18	31	25	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	189	34	33	36	51	35	
	専門科目履修可能単位数	82	0	8	18	31	25	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	184	34	33	36	49	32	
学 外 単 位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般）と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		244	34	33	36	49	32	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位

* 学修単位を示す

γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する

別表第6(第13条関係)

化学コース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	有機化学基礎	1		1				
	無機化学基礎	1		1				
	化学工学基礎	1		1				
	生物学基礎	1		1				
	物質化学基礎実験1	2		2				
	物質化学基礎実験2	2		2				
	基礎物理学1	2			2			
	有機化学1	2			2			
	無機化学1	2			2			
	物理化学1	2			2			
	化学工学1	1			1			
	生物学	2			2			
	物質化学実験・演習1	2			2			
	物質化学実験・演習2	2			2			
	分析化学	2			2			
	基礎物理学2	2				*2		
	有機化学2	2				*2		
	無機化学2	2				*2		
	物理化学2	2				*2		
	物理化学3	2				*2		
	化学工学2	2				*2		
	生化学1	2				*2		
	生化学2	2				*2		
	機器分析	2				*2		
	無機化学特論	2				*2		
	有機化学特論	2				*2		
	物質化学実験・演習3	2				*2		
	創造化学実験	2				2		
	創造化学セミナー	2				*2		
	生物工学	2					*2	
	高分子化学	2					*2	
	キャリアデザイン 3	1				1		
	卒業研究	10						10
	必修科目合計単位数	68	0	8	17	29	14	
選択科目	化学数学	2				*2		
	環境工学	2				*2		
	有機反応化学	2					*2	
	応用無機化学	2					*2	
	量子化学1	2					*2	
	量子化学2	2					*2	
	材料工学	2					*2	
	化学・情報エンジニアリング インターンシップ	2 1					*2 γ 1	高度情報教育プログラム対象科目 3～5年（前期）の実施年に1単位配当
	選択科目合計単位数	17	0	0	0	4	13	
学内	専門科目合計単位数	85	0	8	17	33	27	
	一般科目合計単位数	84	26	22	15	11	10	
	専門共通科目合計単位数	23	8	3	3	9	0	
	開講講座合計単位数	192	34	33	35	53	37	
	専門科目履修可能単位数	85	0	8	17	33	27	
	一般科目履修可能単位数	79	26	22	15	9	7	
	専門共通科目履修可能単位数	23	8	3	3	9	0	
	履修可能単位数合計	187	34	33	35	51	34	
学外 単位	協定校単位（専門）	50	いずれかの学年でも修得可					協定校単位認定の上限は、（一般） と（専門）を合計して50単位
	資格単位（専門）	6						◎単位認定の上限：専門科目6単位
総履修可能単位数合計		247	34	33	35	51	34	学外単位は、取得した学年に加算

◎阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則で認定する単位
＊ 学修単位を示す
γ：3～5年（前期）次に配当する科目であり、実施年次において単位認定する
※選択科目のうち、化学・情報エンジニアリングは必ず履修すること。
※高度情報教育プログラム（化学・情報プログラム）履修生は、選択科目のうち、化学・情報エンジニアリングを修得すること

別表第7(副専門)(第13条関係)

副 専 門 科 目

(令和2年度～令和3年度の入学生に適用)

		4年	5年前期 副専門の配属					5年後期 副専門の配属				
コース名	副専門名	副専門	電子回路	プログラミング演習	機械工作法	建築概論	化学概論	電気コースが開講する 任意の科目	情報コースが開講する 任意の科目	機械コースが開講する 任意の科目	建設コースが開講する 任意の科目	化学コースが開講する 任意の科目
		2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位
機械	電気	○	○					○				
	情報			○					○			
	建設					○					○	
	化学						○					○
電気	情報	○		○					○			
	機械				○					○		
	建設					○					○	
	化学						○					○
情報	電気	○	○					○				
	機械				○					○		
	建設					○					○	
	化学						○					○
建設	電気	○	○					○				
	情報			○					○			
	機械				○					○		
	化学						○					○
化学	電気	○	○					○				
	情報			○					○			
	機械				○					○		
	建設					○					○	

注)5年次における副専門の配属は1年間通じて同一の専門とする。

別表第7(副専門)(第13条関係)

選 択 履 修 科 目

(平成30年度の入学生に適用)

		4年 副専門は 定めない		5年前期 副専門の配属					5年後期 副専門の配属				
コース名	副専門名	熱力学	電磁気学	電子回路	プログラミング演習	機械工作法	環境学概論	生化学	電気コースが開講する 任意の科目	情報コースが開講する 任意の科目	機械コースが開講する 任意の科目	建設コースが開講する 任意の科目	化学コースが開講する 任意の科目
		2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位
機械	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	建設						○					○	
	化学							○					○
電気	情報	○	○		○					○			
	機械					○					○		
	建設						○					○	
	化学							○					○
情報	電気	○	○	○					○				
	機械					○					○		
	建設						○					○	
	化学							○					○
建設	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	機械					○					○		
	化学							○					○
化学	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	機械					○					○		
	建設						○					○	

注) 5年次における副専門の配属は1年間通じて同一の専門とする。

注) 開講年度に新規科目が開講されている場合は、新規科目を受講することができる。

別表第7(副専門)(第13条関係)

選 択 履 修 科 目

(令和元年度(2019年度)の入学生に適用)

		4年 副専門は 定めない		5年前期 副専門の配属					5年後期 副専門の配属				
コース名	副専門名	熱力学	電磁気学	電子回路	プログラミング演習	機械工作法	環境学概論	化学概論	電気コースが開講する 任意の科目	情報コースが開講する 任意の科目	機械コースが開講する 任意の科目	建設コースが開講する 任意の科目	化学コースが開講する 任意の科目
		2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位	2科目 4単位
機械	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	建設						○					○	
	化学							○					○
電気	情報	○	○		○					○			
	機械					○					○		
	建設						○					○	
	化学							○					○
情報	電気	○	○	○					○				
	機械					○					○		
	建設						○					○	
	化学							○					○
建設	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	機械					○					○		
	化学							○					○
化学	電気	○	○	○					○				
	情報				○					○			
	機械					○					○		
	建設						○					○	

注) 5年次における副専門の配属は1年間通じて同一の専門とする。

注) 開講年度に新規科目が開講されている場合は、新規科目を受講することができる。

別表第8(第13条関係)

特 別 活 動

(平成12年度入学生から適用)

特 別 活 動	学 年 配 当					備 考
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	90単位時間以上
	30単位 時 間 以 上	30単位 時 間 以 上	30単位 時 間 以 上			

別表第9(第35条関係)

専攻科 創造技術システム工学専攻 共通教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
一 般 科 目	必修科目	英語コミュニケーション	2	2		
		英語講読	2		2	
		技術者倫理	2	2		
		比較文化論	2		2	
		小計	8	4	4	
	選択科目	言語と文学	2		2	
		生物科学	2	2		
		小計	4	2	2	
	合計		12	6	6	
専 門 共 通 科 目	必修科目	創造設計工学演習(副専攻演習)	2	2		学修総まとめ科目
		安全衛生工学	2	2		
		環境政策論	2	2		
		解析学	2	2		
		情報処理演習	1	1		
		複合領域ゼミナール	2	2		
		創造技術システム工学特別研究1	6	6		
		創造工学セミナー	1		1	
		創造工学演習	2		2	
		創造技術システム工学特別研究2	10		10	
		小計	30	17	13	
	選択科目	線形代数学	2	2		インターンシップ1からインターンシップ4までのいずれか1科目を修得すること
		統計熱力学	2	2		
		環境工学特論	2	2		
		インターンシップ1	1	1		
		インターンシップ2	2	2		
		インターンシップ3	3	3		
		インターンシップ4	4	4		
		物理学特論	2		2	
		応用解析学	2		2	
		小計	14	10	4	
	合計		44	27	17	合計は履修可能単位数を示す
一般・専門共通科目合計		56	33	23	合計は履修可能単位数を示す	

別表第9(第35条関係)

専攻科 創造技術システム工学専攻 共通教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
一 般 科 目	必修科目	英語コミュニケーション	2	2	
		英語講読	2		2
		技術者倫理	2	2	
		比較文化論	2		2
		小計	8	4	4
	選択科目	言語と文学	2		2
		生物科学	2	2	
		小計	4	2	2
	合計		12	6	6
専 門 共 通 科 目	必修科目	創造設計工学演習(副専攻演習)	2	2	
		安全衛生工学	2	2	
		環境政策論	2	2	
		解析学	2	2	
		情報処理演習	1	1	
		複合領域ゼミナール	2	2	
		創造技術システム工学特別研究1	6	6	
		創造工学セミナー	1		1
		創造工学演習	2		2
		創造技術システム工学特別研究2	10		10
		小計	30	17	13
	選択科目	応用線形代数学	2	2	
		統計熱力学	2	2*	2※
		環境工学特論	2	2	
		インターンシップ1	1	1	
		インターンシップ2	2	2	
		インターンシップ3	3	3	
		インターンシップ4	4	4	
		物理学特論	2	2※	2*
		応用解析学	2		2
		シミュレーション工学	2	2	
		信号処理工学	2		2
		小計	18	12	6
	合計		48	29	19
	一般・専門共通科目合計		60	35	25

※奇数年度入学生に適用

* 偶数年度入学生に適用

別表第10(第35条関係)

機械システムコース教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	流体の力学	2	2		
	材料加工学	2	2		
	材料強度学	2		2	
	機械システム工学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	応用地盤工学	2	2		
	シーケンス制御	2	2		
	防災工学	2	2		
	信号処理工学	2		2	
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	応用構造力学	2		2	
	小計	18	10	8	
合計		26	14	12	

別表第10(第35条関係)

機械システムコース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	流体の力学	2	2		
	材料加工学	2	2		
	材料強度学	2		2	
	機械システム工学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	応用地盤工学	2	2		
	シーケンス制御	2	2		
	防災工学	2	2		
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	応用構造力学	2		2	
	小計	14	8	6	
合計		22	12	10	

別表第11(第35条関係)

電気電子情報コース教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	電子デバイス工学	2	2		
	シーケンス制御	2	2		
	電気情報数学	2		2	
	電気電子情報工学実験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	材料加工学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流体の力学	2	2		
	電気回路解析	2	2		
	防災工学	2	2		
	信号処理工学	2		2	
	半導体物性	2		2	
	応用構造力学	2		2	
	現代制御工学	2		2	
	電子計測工学	2		2	
	小 計	22	12	10	
合 計		30	16	14	

別表第11(第35条関係)

電気電子情報コース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	電子デバイス工学	2	2		
	シーケンス制御	2	2		
	電気情報数学	2		2	
	電気電子情報工学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	材料加工学	2	2		
	流体の力学	2	2		
	電気回路解析	2	2		
	防災工学	2	2		
	半導体物性	2		2	
	応用構造力学	2		2	
	現代制御工学	2		2	
	電子計測工学	2		2	
	小計	18	10	8	
合計		26	14	12	

別表第12(第35条関係)

建設システムコース教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	応用地盤工学	2	2		
	防災工学	2	2		
	応用構造力学	2		2	
	建設システム工学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	材料加工学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流体の力学	2	2		
	信号処理工学	2		2	
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	材料強度学	2		2	
	都市環境工学	2		2	
	環境化学	2	2*	2※	
	小計	20	8※10*	12※10*	隔年開講
合計		28	12※14*	16※14*	

※奇数年度入学生に適用

* 偶数年度入学生に適用

別表第12(第35条関係)

建設システムコース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	応用地盤工学	2	2		
	防災工学	2	2		
	応用構造力学	2		2	
	建設システム工学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	機器分析	2	2		
	材料加工学	2	2		
	流体の力学	2	2		
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	材料強度学	2		2	
	都市環境工学	2		2	
	環境化学	2	2*	2※	
	小計	16	6※8*	10※8*	隔年開講
合計		24	10※12*	14※12*	

※奇数年度入学生に適用

* 偶数年度入学生に適用

別表第13(第35条関係)

応用化学コース教育課程

(令和6年度の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	機器分析	2	2		隔年開講 隔年開講
	有機合成化学	2	2※	2*	
	物性化学	2	2*	2※	
	応用化学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	材料加工学	2	2		隔年開講 隔年開講
	電子デバイス工学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	無機化学特論	2	2※	2*	
	電気回路解析	2	2		
	信号処理工学	2		2	
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	材料強度学	2		2	
	半導体物性	2		2	
	環境化学	2	2*	2※	
	小計	22	10	12	
合計		30	14	16	

※奇数年度入学生に適用

* 偶数年度入学生に適用

別表第13(第35条関係)

応用化学コース教育課程

(令和7年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	機器分析	2	2		隔年開講
	有機合成化学	2	2※	2*	
	物性化学	2	2*	2※	隔年開講
	応用化学実験	2		2	
	小計	8	4	4	
選択科目	材料加工学	2	2		隔年開講
	電子デバイス工学	2	2		
	無機化学特論	2	2※	2*	
	電気回路解析	2	2		
	電気情報数学	2		2	
	複合材料学	2		2	
	材料強度学	2		2	
	半導体物性	2		2	隔年開講
	環境化学	2	2*	2※	
	小計	18	8	10	
合計		26	12	14	

※奇数年度入学生に適用

* 偶数年度入学生に適用